

実務経歴証明書記載要領

【基本事項】

1. 実務経歴書は、同一勤務先（１社、１団体）について作成し、２以上の勤務先の実務経験を合計しなければ、省令で定める条件を満たさない場合は、それぞれの勤務先の証明書が必要となります。
2. 委託管理契約に基づく実務経験の場合（ビルメンテナンス会社等に所属している者）は、自社及び契約会社（設置者）の両者の証明を受けてください。但し、実務経歴期間内全ての契約書、覚書、仕様書等を添付出来る場合は、自社のみの証明で結構です。
3. 工事業者については、工事工程表と、契約書の写し又は相手方の証明書を添付してください。
4. 添付書類（組織図、工事工程表等）を含めて証明者の割印を必要とします。ただし、契約書の写し、相手方の証明書等については割印を必要としません。

【実務経験の範囲】

実務経験として認められる職種は次のとおりです。

- (1) 500V(*)以上の電気工作物（一般用電気工作物を除く）である発電設備（除：ダム、水路設備）、変電設備、送電設備、配電設備、給電・遠隔制御等の設備（除：電力保安通信設備）、需要設備に関する次の①②③の業務及びこれらの業務を監督指導する業務。
(*第２種については 10kV 以上、第１種については 50kV 以上)
 - ①工事
 - ㊴新設、増設、改造、取り換え等の工事における電気設備、各種電気機械器具、付帯設備の設計（除 基礎工事）
 - ㊵機器・材料の据え付け、組立工事（除 土木工事、製造工場での材料加工・組立・調整）
 - ㊶配線工事
 - ㊷機器調整及び性能検査
 - ②維持
 - ㊸巡視点検、定期点検、修理、試験、測定などの設備の機能を維持するための保守管理業務等。
 - ③運用
 - ㊹設備を安定的、経済的に運転するための業務
 - ㊺運転状態の監視
 - ㊻周波数及び電圧・電流の調整
 - ㊼電力需給の調整
 - ㊽系統の変更
 - ㊾事故の復旧等における運転、切り換え操作、給電指令、運用（事故の原因究明、報告等）
- (2) 上記(1)の業務に直接関係し、現場に常駐又は定期的に現場に出向く必要がある次の業務
 - ①工事計画の認可申請書等の作成業務
 - ②電気事故防止対策業務及び保安の指導監督業務
 - ③検査に関する業務

実務経験として認められない職種は主に次のとおりです。

- (1) 単なる設備の設置・組み立て作業などの電気工作物に関する知識、技能を必要としない業務（土木工、組立工、溶接工等）
- (2) 警備のために行う監視、記録等であって、電気工作物に関する知識を必要としない業務
- (3) 受電設備を含まない需要設備、負荷設備のみの維持、運用業務
- (4) 学校、研究所の実験設備、試験設備に係る業務
- (5) エックス線発生装置、ネオン変圧器、テレビ受像器などの二次側にだけ高電圧を発生させる機械器具に係る業務
- (6) 電気機械器具、計器類の製造に係る業務
- (7) 電気鉄道用電気設備であって、電車線、トロリー線に係る業務
- (8) 船舶（除 非自航船）、車両、航空機内の電気設備に係る業務
- (9) 電気事業法が適用されない海外における業務

【記載要領】

氏 名	(ふりがな) 戸籍抄本のとおりに記載してください。	生年月日	昭和・平成 年 月 日生
本 籍	戸籍抄本のとおりに記載してください。		
現 住 所	〒 郵便番号、住居表示（何番何号何々方、〇〇会社社宅何号棟何号室まで明記）を記載してください。 (TEL)		
勤務先および 役 職 名	勤務先の名称及びその事業場での役職名を記入してください。但し、すでに退職した事業場から証明を受ける場合には、記入する必要はありません。 (TEL ※内線まで記載)		

略 歴

1. 維持・運用の場合

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自 年月	至 年月	年数 年月			
平成 元年 4 月	平成 6 年 3 月	5 年	〇〇〇〇(株) 〇〇〇工場 〇〇〇〇課 〇〇〇係長	注意 職務の内容の記載にあたっては、下記のポイントを考慮しておこなってください。 なお、箇条書きはしないでください。 1. 概要 ①業務開始年月日の記載 (例：昭和〇年〇月〇日から、……………) ②どのような立場で (例：保安担当者、運転員として……………) ③誰の指導の下で (例：電気主任技術者〇〇 〇〇 [第〇種 第〇〇-〇〇〇〇号] の下……………) <注：必ず氏名、種別及び番号を記載> ④何に基づいて (例：保安規程、社内規程、〇〇契約、〇〇仕様書に基づき……………) ⑤どのような場所で (例：発電所、変電所、需要設備の……………) ⑥どのような電気工作物について (例：右の電気工作物、……………) ⑦どのような業務に従事したか (例：保安担当者、運転員として……………) 注意 各事業所ごとに、業務の実施方法が異なるので、申請者が勤務している事業場全体の電気設備等の概要及び保守管理形態についても記載してください。 なお、委託管理契約に基づく実務経験の場合（ビルメンテナンス会社等に所属している者）は、委託会社（設置者）での保守管理を体制についても記載してください。	注意 申請者自身が関わった電気工作物（第2種申請の場合は電圧10kV以上、第3種申請の場合は電圧500V以上）について次の事項を記載。 事業場の名称 〇〇〇〇 事業場の所在地 〇〇〇〇
注意 期間は、何年何月と記載してください。 電気主任技術者の（許可を含む）地位にあれば役職欄にその旨を記載し、選任届出書の写し（許可の場合は許可書の写し）を添付してください。					
申請期間合計： 5 年 6 月					

--	--	--	--	--	--

期 自 至		間 年数	役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
				2. 業務の実施方法 (1) 申請者が所属する課又は係の勤務体制を記載してください。 ①日勤又は交替制等（勤務時間も記載） ②それぞれの担当業務内容及び人数 (2) 上記における申請者の位置づけ（担当）を記載してください。 注意 組織図等を参考に添付し、同図内に申請者が所属する課又は係の業務分掌とその人数及び日勤又は交替勤務の別を記載してください。又、一つの係で多数の人数がいる場合は、勤務体制（班、担当、勤務時間など）又は役割分担も記載してください。 3. 維持・運用に関する日常業務 注意 申請者自身が行った日常の業務内容を中心に記載してください。 (1) 運転、操作業務 ①どのような頻度で（いつ） ②どのような目的で（例：力率調整……） ③何を（例：遮断器、コンデンサ……） ④どのような方法（例：遠制、直接）で操作したか (2) 監視業務 ①どのような頻度で ②どこで（例：監視室、変電所……） ③どのような目的で ④どのような方法で（例：電圧計、電流計等の計器により……） ⑤何を監視し（例：受電電圧、電力量、電流、力率……） ⑥その結果をどのように処理したか（例：受電日誌等に記入し課長に報告…） (3) 巡視点検業務 ①どのような頻度で（例：毎日、週1回、6回／月程度……） ※交替制等で行っている場合は巡視点検体制及び本人の実施頻度を記載すること ②どのような目的で ③どのような方法で（例：目視、……等による外観検査……） ④どのような電気工作物について（例：断路器、遮断器、変圧器、変成器、各種保護継電器……） ⑤どのような点検項目について（例：たるみ、変形、変色、汚損、過熱、異音、振動、油漏れ……）	1. 発電所 - 出力 - 発電機 電圧、出力、台数 - 主要変圧器 電圧；一次／二次相数、容量、台数 - 遮断器 種類、電圧、遮断容量、台数 - 断路器 電圧、電流、台数 - その他の機器の定格及び台数を記載 2. 変電所 - 出力 - 回線数 - 主要変圧器 電圧；一次／二次相数、容量、台数 - 遮断器 種類、電圧、遮断容量、台数 - 断路器 電圧、電流、台数 - その他の機器の定格及び台数を記載 3. 送電線路 ①開閉所 - 遮断器 種類、電圧、遮断容量、台数 - 断路器 電圧、電流、台数

			※上記④及び⑤は機器毎に記述すること、 「保安規程」「電気工作物の概要」の記載 内容と相違しないよう留意 ⑥何に記録し（整理し） ⑦その結果をどのように処理したか 注意 点検頻度等が少ない場合には、日常ど のように電気工作物の保守管理に携わっ ているか判断出来るよう記載してください。	②電線路 ・種類；架空、地中 ・線路電圧 ・線路亘長 ・回線数
--	--	--	--	---

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
				4. 維持・運用に関する定期業務 注意 月次、年次点検業務及び試験測定業務等の定期的に行う業務について、まず、自社（自ら）が実施したか又は請負業者（社名記載）に委託したかを明確にし、そのとき自らは何をしたのか具体的に記載してください。 (1) 月次点検業務又は年次点検業務 ①どのような頻度で (例：毎月、年1回.....) ※交替制等で行っている場合は本人の実施回数も記載すること ②どのような方法で (例：停電して.....) ③どのような立場で ④どの電気工作物について (例：断路器、遮断器、変圧器、変成器、各種保護継電器.....) ⑤どのような点検項目について (例：たるみ、変形、変色、汚損、過熱、異音、振動、油漏れ.....) ※上記④及び⑤は機器毎に記述すること ⑥何に記録し（整理し） ⑦その結果をどのように処理したか (2) 試験測定業務 ①どのような頻度で (例：毎月、年1回.....) ※交替制等で行っている場合は本人の実施回数も記載すること ②どのような立場で ③どの電気工作物について (例：断路器、遮断器、変圧器、変成器、各種保護継電器.....) ④どのような試験項目について (例：接地抵抗測定、絶縁抵抗測定、保護継電器の動作試験.....) ⑤何に記録し（整理し） ⑥その結果をどのように処理したか ※上記④は基準値、整定値等詳細を機器毎に整理して記載すること。	4. 需要設備 ・受電電圧 ・契約電力 ・受電方式及び回線数 ・主要変圧器 電圧；一次／二次 容量、結線形式、台数 ・遮断器 種類、電圧、電流 遮断容量、台数 ・断路器 電圧、電流、台数 ・避雷器 電圧、電流、台数 ・コンデンサ 電圧、容量、台数 ・リアクトル 電圧、容量、台数 ・開閉器 種類、電圧、電流、 遮断容量、台数 ・フューズ 種類、電圧、電流、 遮断電流、台数 ・非常用発電機 種類、電圧、電流、 台数 ・その他、CT、VCT、Z CT、継電器各種、ケ ーブル等についても 記載して下さい。

					・二次変電設備について (各二次変電設備毎 に記載してください。)
--	--	--	--	--	---

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
平成 6 年 4 月	平成 6 年 9 月	6 ヶ 月	〇〇〇〇(株) 〇〇〇工場 〇〇〇課長	5. 維持・運用に関する不定期業務 機器の事故処理、機器の老朽化、事故処理に伴う改造、取替工事、台風、積雪時、年末年始等の特別巡視等の業務について、実績がある場合は、 (1) 改造、取替工事又は事故・故障対応業務 ①いつ ②どのような機器が ③どのような原因で ④どのようになったので ⑤どのような立場で ⑥どのように対応したか (2) 特別巡視業務 ①いつ ②どのような目的で ③どのような機器を ④どのように立場で点検したか	
注意 期間の最終月 は証明日の前 月まで			注意 「役職名」が変更になった都度、その役職に対応する「期間」、「職務の内容」及び「電気工作物の概要」を記載すること。但し、組織変更等によるもので業務内容に変更がない場合には、「前記同様」と記載するなどしてください。 なお、実務者から管理者に変更となった場合には、職務の内容は必ず記載してください。		

上記の実務経歴を有することを証明する。

令和 年 月 日
事業場所在地 〇〇〇〇〇〇

証 明 人 〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇 〇 〇 〇 印

委託契約先の証明を受ける場合

令和 年 月 日
事業場所在地 〇〇〇〇〇〇

証 明 人 〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇 〇 〇 〇 印

2. 工事の場合

期 間		年数	役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至				
年月	年月	年月			
平成 元年 4 月	平成 2 年 3 月	1 年	〇〇〇〇(株) 〇〇〇〇課 〇〇〇係長	注意 職務の内容の記載にあたっては、下記の ポイントを考慮しておこなってください。 なお、箇条書きはしないでください。 また、各工事ごとに、期間、役職名、 職務の内容及び電気工作物の概要を改 めて記載してください。 〇〇〇工場〇〇設備〇〇工事 1. 概要 ①どのような立場で (例：工事係長、工事業者、……………) ②誰の指導の下 ③何に基づいて (例：施工図、機器配置図、……………) ④どのような業務に従事した (例：需要設備の新設工事……………) 2. 業務の実施方法 (1) 勤務体制等を記載してください。 (勤務時間、当該工事に携わった人数等) (2) 上記における申請者の位置づけ(担当)を 記載してください。 注意 組織図等を参考に添付し、同図内に申請 者が所属する課又は係の業務分掌とその 人数及び日勤又は交替勤務の別を記載し てください。又、一つの係で多数の人数が いる場合は、勤務体制(班、担当、勤務時間 など)又は役割分担も記載してください。 3. 設計業務 ①いつからいつまで (例：昭和〇年〇月〇日から……………の間) ②どのような電気工作物について ③どのような方法、考えで設計し ④何を作成したか 4. 工事施工業務 注意 基礎工事、据え付け工事、社内検査等の 工事工程別に記載してください。 (1) いつからいつまで (例：昭和〇年〇月〇日から……………の間)	注意 記載方法は、維 持・運用に準じ る。但し、職務の 内容に関する部 分についてのみ 記載

			(2) どのような工事に (例：基礎工事、据付工事、社内検査、) ①どのような頻度で（例：毎日、週2～3日、 ) ②何人で ③どこで (例：工事事務所に常駐し、工事現場に 出向き、.....) ④どのような立場で (例：工事監督者、現場代理人、.....) ⑤何を 立会い、何をチェックし、 ⑥誰の、又は何の指導、監督をし ⑦それらの結果をどのように処理したか ⑧試験検査項目 (項目名を列挙すればよい) ○○○工場○○設備○○工事 1. 概要 2.	
--	--	--	---	--

上記の実務経歴を有することを証明する。

令和 年 月 日

事業場所在地 ○○○○○○

証 明 人 ○○○株式会社

代表取締役 ○ ○ ○ ○



【維持・運用業務の記載方法】

【概要】

申請者は、○年○月に入社し、一貫して工場内動力設備の保守、保安業務に携わってきたが、今回の申請にあたり、左記の期間について記載する。

申請者は、大阪工場動力課運転班員として、電気主任技術者○○○○(第2種)の指導のもと、大阪工場の保安規程及び社内○○規程に基づき、中央監視室、受電所及び第2電気室において、右記電気工作物の運転、監視、点検業務等に従事した。業務内容は、日常業務、定期業務、不定期業務に分類され下記のとおり。

なお、○年○月から動力課運転班長となったが、運転班員の時期と業務内容に大きな変更はない。但し、部下の指導業務が付加された。

【業務の実施方法】

動力課は総勢○名で、別紙組織図記載の勤務体制の中で、申請者は4直3交替の交替勤務者(8:00～16:00, 16:00～24:00, 0:00～8:00)として下記の業務を行った。

【日常業務】

I. 監視業務

監視業務は、受変電設備の正常な運転を確認し、エネルギーの節約や事故の未然防止、早期対応を図ることを目的として実施した。

申請者は、勤務時間中常時、他の電力担当1名とともに中央監視室において受電電圧、電力量、電流、力率等を監視し、右記受電設備、機器等の監視、把握を行うとともに、事故警報の有無を確認した。

各計器の指示値等については1時間ごとに運転日誌に記録し、電気主任技術者に報告した。

異常を認めた場合は、直ちに電気主任技術者に報告し、現場に赴いて異常の原因究明及び復旧作業を行った。

II. 運転操作業務

運転操作業務はエネルギーの使用の合理化、電力需給契約に基づく力率の管理、○○等を目的として実施した。

申請者は工場の操業前(○:○○)及び操業後(○:○○)には、運転操作マニュアルに基づき、受電所又は第2変電所において各工場送り遮断器の入り切り操作を行った。また、電力の力率に変動があった場合には、運転操作マニュアルに基づき、力率を1とするよう1日概ね○～○回、受電所においてコンデンサ送りの負荷開閉器の入り切り操作を行った。

なお、上記の操作は運転班班員が行ったため、○年○月以降運転班長となってからは実施していない。

III. 日常巡視点検

日常巡視点検は、機器の運転状態の監視、事故の未然防止並びに異常の早期発見を目的として実施した。

申請者は、1日○回(○:○○、○:○○、...)、他の電力班員1名とともに、目視、聴覚、嗅覚等により右記に記載の遮断器、変圧器などについて機器温度計の指示、表示等の確認、変形、異音、異臭などの外観巡視点検を行った。

点検の結果はその都度点検結果報告書に記載し、主任技術者に報告した。

また、異常を発見又は確認した場合は、直ちに主任技術者並びに上司に報告し、その指示により修理作業を実施した。

○年○月に運転班長となってからは、上記業務は部下に実施させたが、1日1回出勤時に点検結果報告書により異常の有無を確認するとともに、週2回程度は部下の指導を兼ねて、自ら巡視点検を行った。

【定期業務】

I. 月次点検

月次点検は、毎月第2水曜日に日常巡視点検に準じて実施したが、より綿密に点検を行うため、電気係長、電気保全班(1名)と共同で実施した。

運転班については昼勤(8:00～16:00)者が行うため、申請者の実施頻度は年3回程度である。

II. 年次点検

年次点検は、日常点検ではできない点検項目について精密に点検整備し、電気工作物の異常の有無を早期に発見するため、さらには日常点検において異常が見られた箇所を精密に点検又は改修するために、毎年5月に受電を停止して実施した。

年次点検の実施に当たっては、電気主任技術者をチーフとし、申請者は点検員として、運転班全員と電気保全班、外注業者(○○○○)○名と共同で、右記に記載の遮断器、変圧器などについて、損傷、腐食、過熱の状況、操作具合、油漏れ、絶縁抵抗測定、保護継電器試験等の細密な点検、測定試験を行った。点検結果については、定期点検記録表に記載するとともに良否の確認を行い、電気主任技術者に報告した。点検の結果異常を発見した場合は、直ちに電気主任技術者に報告し、その指示により改修を行った。

【不定期業務】

I. 電気工事

①受電用柱上開閉器の取替え工事（○年○月～○月）

受電用気中開閉器（PAS）の老朽化に伴い、ガス開閉器（PGS）に取り替えることとした。

工事にあたって、申請者は改修計画を立案するとともに、工事中においては常時立ち会い、工事業者の監督をするとともに、社内検査（絶縁抵抗測定、耐圧試験、保護連動試験など）においても常時立ち会い、検査結果の良否を確認した。

II. 事故対応

①事務所棟停電事故（○年○月）

事務所棟屋上キュービクルの高圧母線にネズミが接触したため、事務所棟が全停電となる事故が発生した。申請者は直ちに電気主任技術者に連絡すると共に、事務所棟屋上キュービクルに出向き、事故原因の究明と復電操作を行うとともに事故の再発防止対策の実施にあたった。

III. 特別巡視

特別巡視は、台風の通過後、地震の発生後などの災害時や電気主任技術者が必要と認めた場合に、前記の月次点検に準じて実施した。申請者が実施した頻度は2年に1回程度であるが、これまで特別高圧、高圧機器において異常は認められなかった。

IV. 保安教育

申請者は2月に1回電気主任技術者から、機器の操作、事故時の対応等について教育を受けた。

【工事業務の記載方法】

【概要】

申請者は、〇〇部〇〇課主任として、〇〇会社天満ビルにおける右記の特高及び高压電気工作物について、同ビルの電気主任技術者の指示のもと、大阪設計事務所及び天満ビル工事事務所において新設工事業務に従事した。業務内容は、計画・設計業務、工事監督業務、試験・検査業務に分類され、下記のとおりである。

【業務の実施方法】

〇〇部〇〇課は総勢〇名で、申請者を含めて全員が日勤勤務であった。申請者は、工事担当主任として、当該工事の計画・設計並びに工事施工、各検査の監督者として下記の業務に従事した。なお、勤務体制については下記の次のとおり。

計画・設計業務(大阪設計事務所)

(申請者を含めて〇名) 8:30～17:00

工事監督、試験・検査業務(天満ビル工事事務所)

(申請者を含めて〇名) 8:00～16:30

【設計業務】

申請者は、本件工事に係る設計主任として、〇年〇月から〇年〇月の間、右記の各特高及び高压機器の仕様及び設計条件について電気主任技術者と協議し、需要電力量の予想、受変電システムなどを勘案して、①設備使用の検討、②メーカー及び機種種の検討・決定、③材料及び工法の検討、④工事施工図、機器配置図、工事計画書などの検討作成、⑤官庁申請書類の作成、などを実施した。

【工事施工業務】

工事の施工については、工事請負契約書に基づき外部の電気工事会社（〇〇電気工事）が実施した。

申請者は〇年〇月から〇年〇月までの間、天満ビル工事事務所に常時勤務し、工事監督者として工事管理（工事施工状況の確認など）を毎日行った。また、施工図面、〇〇などに基づき、右記電気工作物の①基礎工事（芯だし、架台組立など）、②据付工事（組立、調整など）、③配線工事（主回路、制御配線など）にかかる、請負業者の工事監督、指導を週3～4日程度行った。

業務の遂行にあたっては、常に電気主任技術者に報告し、その指示を受けて実施した。

【試験・検査業務】

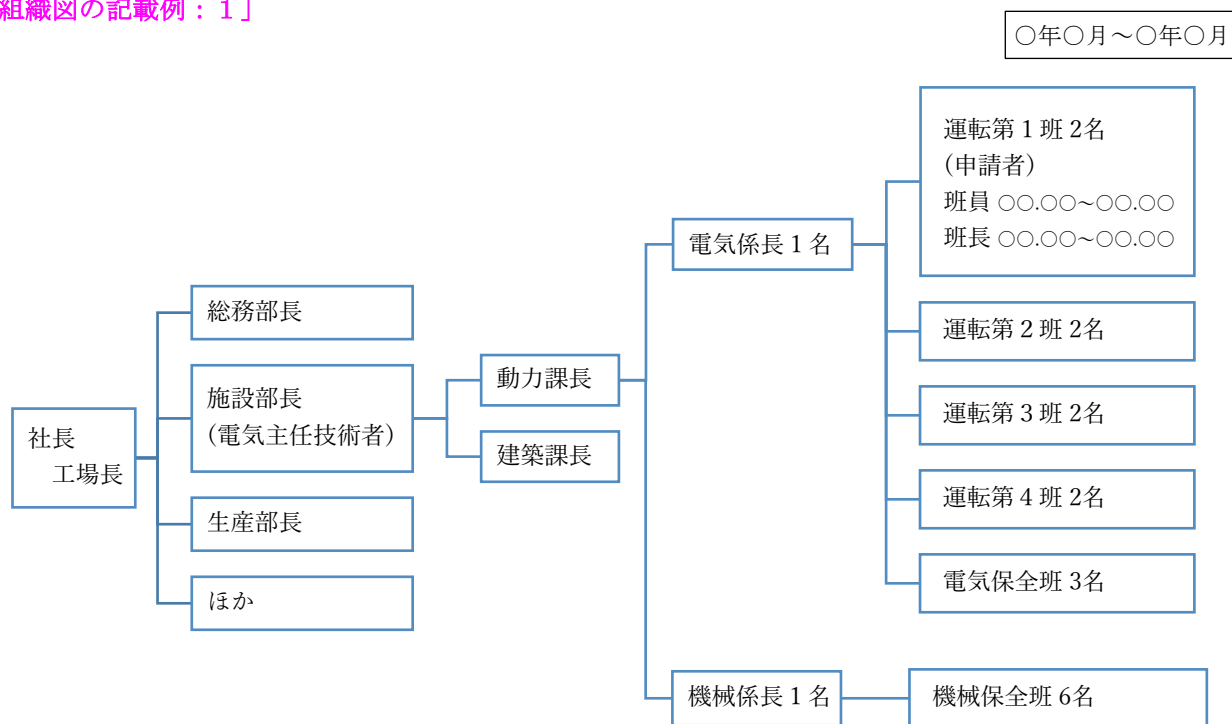
I. 出荷検査等

右記の電気工作物の内、遮断器、トランスなどの重要なものについては、メーカーが工場内において行う工程検査及び出荷検査に立ち会い、定格、仕様、〇〇等が設計図書とおりか、電気工作物の性能、特性、〇〇等についてメーカーが補償する値を満足しているかを確認した。

II. 完成検査

〇年〇月、設置工事等完了後には、工事全般について、自ら施工図面、技術基準、社内規程などに基づき工事内容の確認を行い、社内検査（接地抵抗試験、絶縁抵抗試験、絶縁耐力試験、保護継電器動作試験など）及び使用前検査においては、電気主任技術者と共に立ち会い、各試験実施の指揮を行うと共に、当日の作業者の監督を行った。

[組織図の記載例：1]



業務分掌(例)

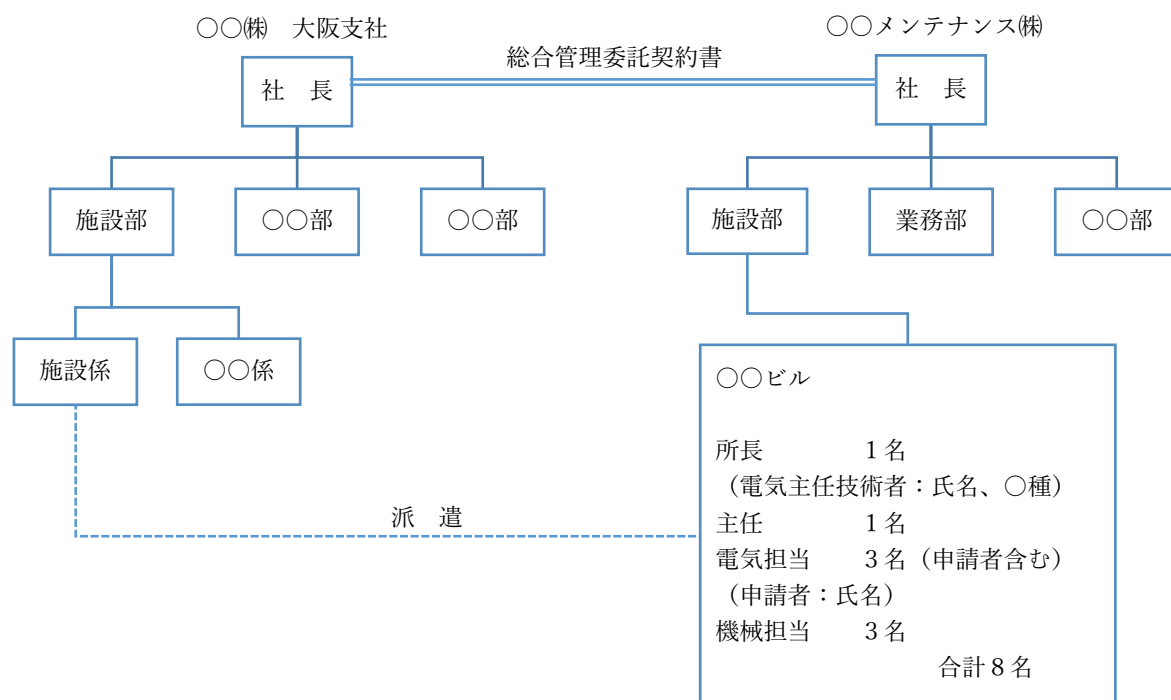
- ・動力課長：施設部長を補佐し、工場内の電気設備及び蒸気・配管設備の保安管理
- ・電気係長：日勤(8～17 時)
 - ①工場変電設備、需要設備の運転・監視、巡視点検、定期点検及び補修工事、
 - ②運転班員の指導監督、③給電連絡など
- ・電気係運転班：4 直 3 交替(8～16 時、16～24 時、0～8 時)
(第 1～4 班) 工場変電設備、需要設備の運転・監視、巡視点検、定期点検など
- ・電気係電気保全班：日勤(8～17 時)
工場変電設備、需要設備の日常・定期点検及び補修工事など
- ・機械係機械保全班：日勤(8～17 時)
工場蒸気・配管設備の日常・定期点検および補修工事など

(記載注意事項)

- ①電気主任技術者及び申請者の所属部署を明示すること。
- ②電気工作物に携わる電気関係各課、係長、係員の人数及び業務分掌を略記すること。
また、勤務体制(班、担当、勤務時間など)も記載のこと。

〔組織図の記載例：2〕

○年○月～○年○月



業 務 分 掌

所 長：
主 任：
電気担当：
機械担当：
施 設 係：

業務分掌記載例については、
〔組織図の記載例：1〕を参照